

英語 2026 年度 出題の意図

本試験では、英語の基本的な知識と読解力を中心に、英文の内容を適切に理解する力を総合的に評価することを目的として出題している。出題範囲は「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」とし、問題は語彙・文法に関する基礎的な理解を確認する設問と、まとまりのある英文の内容理解を問う読解問題から構成されている。発音・語彙・語句選択・語順整序といった基礎事項に、空所補充や内容理解を加えた多様な形式を組み合わせ、基礎学力と読解力をバランスよく測ることをねらいとしている。

前半では、発音・語彙の意味理解・語句選択・語順整序の問題を通して、英語の基礎的な語彙力や文法理解を確認している。【1】の発音問題と【2】の語義説明から単語を選ぶ問題では、語彙に関する基本的な知識を見ている。また【3】の空所補充では、similar to や come true といった連語、名詞節を導く接続詞 that、慣用的な仮定表現など、文脈に照らして適切な語句を判断できるかを問っている。【4】の語順整序では、不定詞や原級比較、否定の慣用表現など基本構文を文の構造に即して運用できるかを見ている。

後半の読解問題は、まとまりのある英文の要点と細部を正確に把握する力を見ている。【5】は食生活と寿命に関する説明文を題材に、文脈に即した語の補充を通して論旨の把握と語彙運用力を確認している。【6】は日本の「居眠り」と「過労死」を扱った文章を題材とし、空所補充や指示語、語義推測、内容真偽など多様な設問により、英文の構造と論理展開の理解を問っている。あわせて【7】はアメリカでの航空機利用に関する文章を題材として、下線部和訳と内容説明により文意を日本語で表現する力を測る問題としている。

以上の問題を通して、語彙・文法・構文に関する基礎的な知識を踏まえつつ、英文の意味や構造を理解し、文脈に基づいて適切に判断する英語の読解力と総合的な運用力を評価することをねらいとしている。

※各問いの詳細は、一般選抜A一日目の内容に基づいて記載しております。